

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

目的

発達の遅れや障がいなどのある子ども及び医療的ケアなどの特別な支援を必要とする子どもへの、乳幼児期から就労期に至る一貫した支援体制を整備する。



成果

- ・医療、保健、福祉、教育及び就労等の関係機関と意見交換等を実施することにより、情報の共有や共通理解を促進できた。
- ・小中学校に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒へ、組織的に対応できる体制を整備したことにより、学校全体の特別支援教育の推進に貢献した。

事業内容

○宇都宮市発達支援ネットワーク会議の開催

- ・障がい児支援に係る関係機関との連携についての意見交換
- ・医療的ケア児の状態や支援状況等の分析結果の報告

○学校生活適応支援アドバイザーの小中学校への派遣

- ・校内委員会や特別支援教育コーディネーターの効果的活用、医療や福祉機関との連携、特別な支援を必要とする児童生徒への指導の在り方や関係機関等との適切な連携について、小中学校の管理職へ助言

